

米中戦争を国際連帯で世界革命に転化しよう！

ゼネストで闘う韓国・民主労総と共に闘おう

軍政と非和解で戦うミャンマー人民と共に闘おう！

미국과 중국 전쟁을 국제연대로 세계혁명으로 전화시키자! 총파업으로 투쟁하는 한국 민주노총과 함께 투쟁하자! 군정을 맞서 비화해로 투쟁하는 미얀마 인민들과 함께 투쟁하자!

Let's turn US-China war into world revolution by international solidarity! Let's fight together with KCTU (Korean Confederation of Trade Unions) which has waged the general strike! Let's fight in solidarity with Myanmar people in their irreconcilable struggle against the military regime!

アフガン敗退と米帝バイデン政権の危機

米帝の20年に及ぶアフガン侵略戦争の敗退それ自体が米帝の没落と危機を深めている。そして米帝の没落と危機それ自体が新たな世界的激動を引き出し、世界戦争（核戦争）の危機を現実化させている。ミャンマー、スーダンの軍事クーデターも激動を加速させている。

加えて、米帝のデフォルトの危機は解消されていない。共和党が譲歩し一次的に法定上限を28兆9000億ドルに引き上げ、法案可決で12月3日までの資金繰りは可能だったが、その先は闇だ。米国債債務不履行の危機を一時的に棚上げしたにすぎない。新たな上限拡大分の4800億ドルは12月3日までに枯渇がすでに見込まれている。デフォルトの危機が再来する。米国債は世界中の金融機関が保有し、不履行になれば米国債の価値は失墜し、リーマンショックを上回る金融危機は確実となろう。コロナ禍におけるバイデンの成長戦略の柱のひとつである大型歳出計画も議会調整がつかず当初案から半減し、10年間で総額を1兆7500億ドル（約200兆円）規模に下げたが、成立の見込みは立っていない。

そもそも「新自由主義の延命策」や「新自由主義からの転換」（岸田）などありえない。あるのは「戦争か、革命か」の選択しかない。すでに現実化しているように米欧中露は非和解的に激突し、米中戦争—世界戦争（核戦争）への地獄の道を歩み始めている。すべての階級・階層が根本からの社会変革をめざし、プロレタリア革命への道を選択する新たな世界史的情勢が成熟している。米中戦争をプロレタリア革命に転化しよう！コロナ禍と大恐慌—社会崩壊の全ての元凶・新自由主義を、階級的労働運動と実力闘争で打倒しよう！

米国防総省の対中戦略見直しは破綻する

9・11同時テロ直後、ブッシュ政権は「テロ」に対する恐怖を煽り、国民感情を操作し、アフガン戦争に突入した。210兆円以上の軍事費を投入し80万人以上を派兵。米兵の死者は2461人。2万人以上の負傷者を出した。民間軍事会社の非正規兵士が大量に投入され正規戦を担い、米兵以上に死傷者を出している。だがこれらの非正規兵士の死傷は一切カウントされていない。

米兵の自殺者は戦死者数を上回っている。難民は最大時で約680万人。アフガン戦争の結末が打倒したタリバンの復権だ。派兵された米兵は「アフガン戦争はいったい何のための戦争だったのか？」と問い、夫が戦死した家族は、「夫はいったいなんのために死んだのか？」と問い、その疑問は今、バイデン政権と帝国主義主義国家への怒りに転化している。（裏に続く）

—自衛官との団結は職場の団結から始まる—

「R i s e」 労働者・兵士ともに立ちあがろう！

発行：労働者兵士行動委員会 URL：<http://www.rise-rou-hei.info/wp/>

tel：090・8961・0141

会報：隔月発行 購読料：1部 ￥100—

労働者兵士行動委員会 年会費：2000円（申し込みは下記）

〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階 「Rise」事務局宛へ

日米の中国侵略戦争を阻止し、革命に転化しよう！

労組解体・関西生コン弾圧を全労働者の力で粉碎しよう！

コロナ禍と大恐慌の元凶、新自由主義を革命で打倒しよう！

日本と米国の中国侵略戦争を止め、革命で変えよう！ 労働者の力で分権しよう！ コロナ19の危機と大恐慌の元凶、新自由主義を革命で打倒しよう！

Stop Japan/US war of aggression against China, and turn it into revolution! Smash union busting and the suppression of Kan-Nama (Solidarity Union of Japan Construction and Transport Workers Kansai Area Branch) by all workers' power! Down with Neoliberalism, the main cause of Covid-19 pandemic crisis and great depression, by revolution!

バイデン政権はアフガンからの完全撤退は、新たな米中戦争に備えるためであると言いつつ、昨年5月、米議会で政策提言組織が結成された。「チャイナ・タスク・フォース」である。同年9月30日、中国侵略戦争を包括的に描いた青写真となる報告書を発表し、中国を米に対する「世代の脅威」と捉え430件の対中提言を唱えた。そして本年6月9日、米国防総省内の対中戦略見直しを進めてきた対策チームが最終提言をまとめた。米国防長官は同日、提言に踏まえ、「中国の挑戦」への対処を国家の「最優先課題」にすることを省内に指示した。提言や指示内容は国家機密のため公にはされていないが、国防総省の声明では「新たな対中作戦構想の構築を進展させる」と強調している。

その具体化として現れているのが以下である。太平洋地域での米軍強化を目的とした「太平洋抑止イニシアチブ (PDI)」の新たな設置であり、グローバル・ボスチャー・レビュー (GPR) による地球規模の米軍態勢の見直しである。米帝は過去、GPRで米軍を中東・アフリカから欧州へ、欧州からアジアへ、そして今、対中戦略の見直しによる米軍の東アジアから東南アジアへの再編・配備を進めている。これに連動しEUは経済・安全保障問題でのインド太平洋戦略を策定し軸足を対中国に移し始めている。クアッド (日米豪印) は南中国海での軍事演習を強化し、新たな対中軍事同盟としてのオーカス (米英豪) は豪州への原潜配備を決定し、対中包囲網の軍事戦略が激しく進められている。オバマ政権下のインド太平洋戦略 (構想) やクアッドは安倍の提唱だ。コロナ危機と恐慌情勢下、新自由主義の破産を米日帝国主義は中国侵略戦争への踏み込みで突破しようとあがいている。だが破綻する。ベトナム、アフガン戦争の敗退がそれを示している。何よりも世界の労働者民衆は侵略戦争を絶対に許さない！

改憲と戦争に突進する岸田政権を倒そう！

コロナ禍と大恐慌情勢下の衆院選で自民党は小選挙区で甘利、石原、平井、桜田など政権中枢・党中枢の候補が落選に追い込まれた。一方の「野党共闘」は大破産し、自民党・極右らの延命に手を貸した。

岸田は、自民党総裁選で敵基地攻撃能力の保有、防衛費のGDP 2%以上、中期防の見直しなどを掲げ、改憲と戦争国家化に向けた「新自由主義からの転換」「新しい資本主義」というペテンを前面に押し出した。極右・高市は「憲法改正が必要だ」「実効的な抑止と対処に必要な能力をわが国が保有し、日米同盟で補完する」と強調した。基軸は日帝独自の軍大化であり、日米同盟はあくまでも「補完」でしかないと明確に規定している。これが安倍・高市ら極右の「日米同盟観」である。

「いずも」が空母化され、すでにF-35B (米軍) が離発着している。「12式地対艦誘導弾」の射程900kmへの改良と空自機・海自艦への搭載開発が来年から開始される。敵基地を先制攻撃する能力保有の具体化が進行する。「12式」射程の900km改良が終われば中国空域外から北京中枢への先制攻撃が可能となる。改憲・戦争阻止！反戦・反基地闘争を全国で拡大させ、労働運動と実力闘争で岸田 (安倍) 政権を打倒しよう！！ 本日の11・7労働者集会を新たな出発点に国境を超えた国際連帯でプロレタリア世界革命に向けて共に闘おう！

池田自衛隊裁判最高裁署名の全国的拡大を推進し、勝利しよう！